



日刊日曜日... 日休月一ヶ月廿五... 郵料十五錢一部二... 廣告料一行四十... 場所指定二十錢... 發行所 牛谷政... 牛谷政...

常識講座

タクチックスは戦術... 内國有林に於て... 来る三十日午前十時... 習合場左記に對する... 書の授與をなす

出鱈目の家相眼で

迷信者の金品騙取... 平署のダニ狩で擧げられた... 小名濱町居住の同人... 小名濱町字定西居住の家相觀... 業渡邊政吉(五)は平署於ける... 過般のダニ狩で檢査留置取調... 中であるが同人の犯罪は昨... 年十一月同町竹柳内熊吉方... に至り當家の屋敷には人の白... 骨が埋まつてゐるので必ず祟... りが来るから出雲大社の分靈... を祀つて禍を除けと出鱈目を... 唱ひて其の費用と稱し金二十... 圓を收受し次へで同町字定西... 和田義雄方でも同じく家相が... 悪いから出雲大社の加護を受... けねばならぬと其の費用に六... 圓五十錢を苛欺し引續いて同... 町針山甚松方からも同様家相... の講解に嘘八百を並べてブド... 一酒(價三圓)を騙取したのも... である

今日社葬

大日本坑遭難者... 石城郡勿來町大日本炭礦に於... ける落盤死者八名に對する... 遺族慰籍料及び葬儀料は昨報... の如く決つたが今二十二日社... 葬の盛儀を執行した

汽鐘協會の總會

平汽鐘協會の第二回定時總會... は來十一月二日午後四時半か... ら平署會議室に於て開催職務... 會計の報告の外本縣汽鐘監督... 官臨席重要事項について協議... をなす

縣木炭の査定會

今日平町にて... 縣主備の木炭査定會は今二十... 二日午前九時から追濱部部長... 外山林課關係の出席ありて平... 署の會議室を會場に開催され... たが出陳木炭百八十二俵の方... 部分け左の如くである

青果市況

平中央寄 (厘單位) 果市場調 高値 安値 人参(買) 三〇〇 三〇〇 人参(賣) 三〇〇 三〇〇 牛蒡(買) 三〇〇 三〇〇 牛蒡(賣) 三〇〇 三〇〇 大根(買) 三〇〇 三〇〇 大根(賣) 三〇〇 三〇〇 長根(買) 三〇〇 三〇〇 長根(賣) 三〇〇 三〇〇 菜(買) 三〇〇 三〇〇 菜(賣) 三〇〇 三〇〇 葱(買) 三〇〇 三〇〇 葱(賣) 三〇〇 三〇〇 白(買) 三〇〇 三〇〇 白(賣) 三〇〇 三〇〇 馬鈴薯(買) 三〇〇 三〇〇 馬鈴薯(賣) 三〇〇 三〇〇 へら菜(買) 三〇〇 三〇〇 へら菜(賣) 三〇〇 三〇〇 甘藷(買) 三〇〇 三〇〇 甘藷(賣) 三〇〇 三〇〇

平窪村との合併

本年内に實現か... 平町からの交渉に對して... 同村も本格的に乗出す

石城兵事主任 觀楓會

來月九日の總會後... 平署管下兵事事務研究會では... 昨二十一日の幹事會に於て來... 十一月九日午前九時から上下... 小川組合村役場に總會開催を... 決定したが當日は永年同會の... ため盡力したる同村書記柳田... 政松氏の退職と鹿島村書記瀧... 部嘉藏氏の退職に對し記念品... を添えて表彰の筈で尙ほ會議... 終了後夏井川溪谷の江田紅葉... 地に觀楓會を催すと

縣主催の學校衛生 視察研究會

昨二十一日平第一校に於て... 篠山校長其他の研究發表

赤井藥師の 再建敷地

經塚山の中復... 東北の名刹石城郡赤井藥師... (常福寺)は火災後の本堂建築... 敷地に關し地権及び信徒間に... 意見の一致を欠けてゐたが去...

來平五百の將兵で 攻防演習と化學戰

中等學生及び青年校を加へる... 合戦に瓦斯マスクの活動

出荷薄から 割合高値

昨日の依米共販... 石城郡販賣聯合會に於ける昨... 二十一日の依米共同販賣は既... 報の如く會て出荷薄で飯野倉... 庫の三十俵に止まり九名の競... 争入札の結果平町の米穀商久... 保木林之助氏に一俵十一圓三... 十錢で落札したが當日の最低... 入札價には十圓十八錢と稱す... るものがあり此の差額實に一... 圓十二錢と云ふ大きな開きで... あるだけ出廻り盛期を控いた...

木炭講習の 證書授與

濱三郡木炭同業組合から講師... 濱三郡木炭同業組合から講師...

女給の妻を氣にし 小心者の猫自殺

水戸屋で苦悶中を發見され... 醫師の手當で助かりそ、

植田町議のダニ

石城郡植田町の町會議員豊田... 豊(五)は今回のダニ狩で植田... 署に檢査取調中であるが豊... は町内有力家に親戚の多いの... を笠にきて泥酔暴行を働きの... 般から忌避されてゐたもので... 無銭飲食等も多數あるものと... 云はれてゐる

乳牛五十頭に 妊症の豫防注射

石城郡植田町では乳牛約五十... 頭に對し流産による避妊症を...

豚一頭

殘金不拂から告訴... 平町三丁目大塚駒太郎は田村...

盜伐を告訴さる

小名濱町の中島字不坪佐川龜... 次郎は本年七月の中村郡大越... 村の上大越白石富松所有の立... 木九本(價五圓)の盜伐を發覺... 今日再三辨償方を迫られたが... 不拂のまま最近行方を晦まし... たので今二十二日平署に告訴... さる

勿來助役の息死

石城郡勿來町助役横山太一氏... の息信衛(三)君は腸チフスで... 隔離療養中であつたが去る十... 八日午後四時半死亡した同町... で本年夏以來腸チフスの流行... に襲はれてゐたが死亡はこれ... が初めてである

那波根村神侯徳天川先崎賢か

ら去月二十日生豚一頭を十九... 圓五十錢を以て買ひ受け内金... 一圓五十錢を支拂つた殘額十... 八圓の代りに仔豚一頭を送る... 約束で前記の豚一頭を持歸つ... たま、再三の督促にも言を左... 右にして仔豚を送らぬ爲め今... 二十四日被害者から平署に告... 訴された

農業者

小麥販賣の 根本統制

(5) 泉山農技師

因つて茲に産業組合と農會との協同計画が必然的に要求されて來るのである、而して私は兩者の協同と其の實行方法の試案として次のやうな方法を提示するものである、

- 一、先づ産業組合並びに農事實行組(法人團體の手續きを完了したるもの)に對し産業組合は肥料資金を融通すること、
- 二、肥料資金の回收は原則として現物(小麥)を以て之れを償還せしむること、此の際、組合側に於て自信あらば丸産肥料の如きものを統一配給することがより効果的である、
- 三、右の二項を實現せば産業組合の自然擴充と肥料の配給統制の實を容易に擧げ得られることは論をまたなす、
- 四、農會系統は生産指導にあたり同時に地方商人の商業政策としてないことを望むものであるが偶々悪辣なる手段によつて丸産肥料使用者の一部と通謀し丸産肥料に例へば窒素肥料を加用し倒伏せしむるが如き手段を取るものが生ずる場合などに於ては生産指導を擔當する農會側に於て之れを斷乎として排斥する。



開院

專 門 性 病 科

泌尿器科
皮膚科

診療時間
午前八時より
午後九時まで

江尻伊三郎
院醫尻江

平町田町(舊山内醫院跡)電話六九一

移轉お知らせ

今般スタチ才擴張の爲め左記に移轉仕り候間從前通り御引立の程偏にお願ひ申上候

平町田町五番地
齋藤寫眞館
電話(呼)二七二番

入院應需(自炊の便あり)

明雲堂眼科醫院

平町町(三丁目裏川岸通)

「看護見習募集」

デリーサービス

特にマルトモのランチは...

品名	品目	品目
月カツレツ	チキン	カツ
火チヤップ	親カツ	井カツ
水エビ	ハヤシ	ハヤシ
木メンチ	オム	オム
金コロッケ	ハム	ハム
土ロース	ライス	ライス
日ランチ	カレ	ライス

御来店御召上りの時も御來客様用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の材料で美味快適なものを調理進上出来ましますので是非に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

堂食モトルマ

平町通 車場通

電話 二二三

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は

平町 田町

和久屋

便利で 日下家政婦會の 經濟な 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正です。何をお任せしてもご安心です。

平町字田町十八(西村屋横町)

會長 日下すい子
電話 七二三番

フード自動車

並に純正部分品 各附屬品販賣及修繕

フード特約販賣店
久保田商店
平町大町 電話三三二二番

ハナエ

衛生 經濟 節儉

原料は精魚を吟味し製造法に注意してあり、かつ衛生上完全無欠の良品で、節儉と少しも異なる事なく各地に於て好評を受けて居ります。

輕便 削る手数を要せず「グシ」も至つて早く出ます。

以上時勢の要求を完備せる理想的花鱈の眞價を一日も早く實際に御試しあらんことを切望致します。

商店製造部 (平町六丁目)

つばね

大河内接骨院

平町才植小路
電話五八八

高久病院

平町田町 電話五二三番

院長 醫學士 高久忠

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

和久屋

食品店

平町大町

各専門門醫當

院病濟共城磐

院長 醫學士 久喜部谷長

平町 電話一四六番

正確なる 寒暖計 (各種)

計量器指定販賣 (各種)

平町五丁目
山野邊藥局

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン

旨味 1・10

何婦人の方には少し水を加へて召し上ると更に一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

債券公債 兩替 金融

多田井質店

平町大町 電話五九一